

基礎学力テスト (八枚の内 その一)

受験番号

一 次の文章を読み、後の問に答えてください。

私の母は体が弱くて、でもとてもきれいな好きだったので、とにかくいつもつらそうにそうじをしていた。

あまりにもつらそうなので、A私はそうじが嫌いになった。

母はやがてもっと体調を悪くして、あまり家事をしなくなってしまった。そうしたら家事をしないと負い目ですますつらうになった。

そのことをあまり書くといつもすごく怒られたけど、もう亡くなったから書いてしまっているのだ。

「家事なんかしなくても、怒るよりはB笑顔でいてくれたらよかったのに」と中学生の私にはとても言えなかった。いろいろ笑顔で分かち合ってくれたら楽しく手伝うのに、と。

思春期の子どもって、うっとうしいとかいやだとか面倒くさいとかばっかり言っているけれど、それはかつこうをつけているだけで、Cほんとはわかっている。どういうふうに表示しているのかだけがわからないのだと思う。

だから今、主婦になった自分がイライラ気分MAXで家事をしているとき、ああ、もう止められないくらい不機嫌だけど、気をつけよう、ここを乗り越えて、一息ついたら、できることなら後で笑顔になりたいな、と思えるようになった。

そうしたら、自分の子どもだけではなく、Dが喜びそうな気がする。

子どもができて、初めはとにかく子どもをE持つて(でっかい赤ん坊で、持つとしか言いようなない抱え方だったのだ)どこへでも歩いていたのだが、Fだんだんそうはいかなくなってきた。

打ち合わせなどに連れて行ったりいきなり乳を飲ませたりすると、露骨に困る人がいる場所がたくさんあり、置いて行くには人に頼まなくてはならなかった。

両親は高齢、姉はその介護にあたっていたので、海外出張にもチビを必ず連れて行ってなんとかしたが、それもかなりきついことだった。ほんとうにふらふらのへろへろでなんとか乗り越えた感じだ。

そうじや洗濯などベーシックな家事が最も滞り、私はやむなくお手伝いさんに週三回それらを頼むようになった。

いろんな時期にいろんな人に頼んだから、笑えること、泣けること、怒りが湧いてくること、多くのとんでもないエピソードがある。

そして今残っているのが、ほんとうに優秀で親切で私の千倍くらい家事ができる人ふたりだ。

私の仕事は家でやる仕事だから、静かでないとはんとうに捗らない。

また、書きながら突然資料のDVDを見たりするので、家の中をGに、いろんな時刻に動く。寝る時間もたいていまちまちだから、やっと寝ついた頃にお手伝いさんがやってきてそうじをはじめるととてもつらい。だいたい他人が家の中にいるだけで少し緊張する。

それでも、だんだん私は慣れてきた。

自分がこんなことに慣れるなんて、考えたこともなかった。

私の育った家はあまりにもお客さんが多く、家族の時間がなかった。だから家族の時間を持てる、人の来ない静かな家にしたかったのだ。

基礎学力テスト (八枚の内 その二)

受験番号

でも、Hそうはいかないのが人生だ。

今では私はお手伝いさんが掃除機をかけていてもぐうぐう眠れるようになったし、隣で子どもと大騒ぎしていても小説を書けるようになった。

すごい成長というか I だと思う。

風邪などひいて寝込んでいるとき、「Hお手伝いさんが家にいると、ちょっと泣きそうになることがある。

特に何をしてくれるわけでもないし、期待もしていない。

自分でお水もくみに行くし、氷枕も取り替えに行く。

でも熱がある頭の中で、ああ、人がいて家事をしてくれるってなんていいんだろうと思う。

たとえ身内でなくても、怒ってない足音で淡々とおそうじをしたり、洗い物をしたり、宅配便を取ってくれたり、たくさんの犬や猫たちのおしっこを片づけてくれたり、子どもの帰宅を私の代わりに迎えてくれたり。

お金で雇ってる人なのだから、個人的な友人ではない。それはわかっている。それでも夢を見ているし、なにかが通い合っていると
思う。

家事のプロが立てる音は、正しいリズムを刻んでいてまるで音楽みたいだ。

やがて、子どもが大きくなってその人たちだっていなくなるだろう。

望んでいた静かな生活が訪れたら…きっとこの小さな幸せを懐かしく思うだろう。

ちよっとだけ重い荷物を分け持ってくれたその真心を愛おしく思うだろう。

(よしもとばなな「家事の音」『小さな幸せ46こ』中央公論新社 二〇一八)

問一 傍線部A「H私はそうじが嫌いになった」とあるが、なぜそうなったと思われるか。述べてください。

--

問二 傍線部B「H笑顔でいてくれたら」とあるが、もし笑顔でいてくれたらどうであったのか。述べてください。

--

基礎学力テスト (八枚の内 その三)

受験番号

問三 傍線部C「ほんとうはわかっている」とあるが、何をどうわかっているのか。述べてください。

--

問四 空欄Dに入る言葉として適切なものを次の①～⑤の中から一つ選び、番号を解答欄に記してください。

- ① 他の多くの子どもたち ② あの日の母親 ③ あの日の自分 ④ 母親としての自分 ⑤ 亡き母

--

問五 傍線部E「持って」に最も近い意味を持つ「持って」がある文を次の①～⑤の中から一つ選び、番号を解答欄に記してください。

- ① 大きなカバンを持って学校へ行く。
② 彼女は製菓衛生師の資格を持っている。
③ 僕は責任を持ってその仕事に取り組むつもりだ。
④ 彼は生まれつき野球のセンスを持っている。
⑤ まだ燃料が持っているのでなんとかたどり着けそうだ。

--

問六 本文中のオノマトペを全て抜き出してください。(例 「雨がザーザー降っている」の「ザーザー」)

--

問七 傍線部F「だんだんそうはいかなくなってきた」とあるが、それはなぜか。述べてください。

--

基礎学力テスト (八枚の内 その四)

受験番号

問八 空欄Gに入る最も適切な四字熟語は何か。次の①～⑤の中から一つ選び、番号を解答欄に記してください。

- ① 一騎当千
- ② 縦横無尽
- ③ 百鬼夜行
- ④ 不眠不休
- ⑤ 昼想夜夢

問九 傍線部H「そうはいかないのが人生だ」とあるが、元々はどう「いきたかった」のか。その理由も併せて述べてください。

問十 空欄Iに入る二字の語句を本文中から抜き出して答えてください。

問十一 傍線部J「お手伝いさんが家にいると、ちよつと泣きそうになる」とあるが、どうして泣きそうになるのか。述べてください。

基礎学力テスト (八枚の内 その五)

受験番号

二 次の文章を読み、後の問に答えてください。

思い返せば不安でなかった日など一日たりともありませんでした。

なにかしら不安のたねはころがっているものであり、どこかしら不安の風は吹いてくるものです。

もし、不安じゃなかったときがあったりしても、

A

、また気がつけば新しい不安はすぐそ

こに待ち構えているのです。

不安の反意語が「安定」なんて嘘。安定なんてそもそもこの世にはなく、油断している期間のことをそう呼んでいるにすぎないのです。

^Bそんな言葉にだまされて、さらにはそれをキープしようとする人がいます。いつか痛い目に遭うことは確実です。

生き物の宿命は別離であり、死別であること。この最大の不安から逃れることがない限り、安定などあるはずがありません。すなわち、不安をなくすということは生きることを否定することと同じ意味なのです。

^Cもう、あきらめるしかないが正しい。

しかし、^D人は不安と真つ向に対峙したとき、必ず成長するものです。

ただ単に年をとれば大人になれるわけではありません。目の前の不安から逃げないで、どうにかうまくつきあっていこうとする気が持ちが人を大人にするのです。

それにはできる限り他人にやさしくするのがいいでしょう。他人が喜ぶことだけを考えて、それを趣味に生きていけばいいのです。

偽善だって言われてもかまいません。

とにかく少しでも自分に興味をなくし、自分以外のものに興味を向けるべきなのです。

(みうらじゅん「不安こそ生きてるあかし」『さよなら私』角川文庫 二〇二二)

問一 空欄Aに入る言葉として適切なものを次の①～⑤の中から一つ選び、番号を解答欄に記してください。

- ① 怖がることはありません。きつと優しい誰かが助けてくれて安定する。そしてその後
- ② また不安になり、そして時間が経てば不安は消え去り
- ③ それは偽善であり
- ④ それは単に不安を忘れているだけのこと
- ⑤ それは安定するための意識的努力の賜物であり、しかしながら

--

基礎学力テスト (八枚の内 その六)

受験番号

問二 傍線部B「そんな言葉にだまされて、さらにはそれをキープしようとする人がいます」とあるが、何にだまされ、かつそれをキープしようとしているのか。本文よりそれを抜き出して答えてください。

問三 傍線部C「もう、あきらめるしかないが正しい」とあるが、何をあきらめないといけないのか。それはなぜなのか。述べてください。

問四 傍線部D「人は不安と真つ向に対峙したとき、必ず成長するものです」とあるが、この時我々はどうするべきなのか。述べてください。

問五 次の①～⑥のうち、本文の趣旨と合うものをすべて選び、番号を解答欄に記してください。

- ① 人間は不安を解消し自分が幸せになるために、安心のたねを世間から努力して獲得していかなければならない。
- ② 自分はいずれ死んでいなくなるし、そんな自分の存在を強く意識しこだわっても仕方ない。
- ③ 長い人生、不安もあれば安定もある。不安はできるだけ忘れて安定を大切にすることが肝心だ。
- ④ 自分ではなく他人に目を向け、他人に優しくし他人が喜んでくれるよう貢献することに意味がある。
- ⑤ 不安で自分を見失ったら、自分探しの旅に出て新たな自分を発見するよう頑張るのがいい。
- ⑥ 自分を大切にしよう。

基礎学力テスト (八枚の内 その七)

大阪夕陽丘学園短期大学

受験番号

三 次の①～④の空欄をあとの語群から選んだ漢字で埋めて、ことわざ・慣用句を完成させてください。さらに、それらのことわざを当てはめることのできる日常的な具体例を作成し、文章で答えてください。

例

鳶とびが

鷹たか

を産む

栄養バランスを全く考えない父親の娘が栄養士を目指している。あの父からあの娘か。

①

の威を借るきつね狐

②

に鯨じやう

③ まな板の上の

④

に引かれて善光寺参り

語群

鷹たか

燕つばめ

鯨

牛

虎

鯉

鷗かもめ

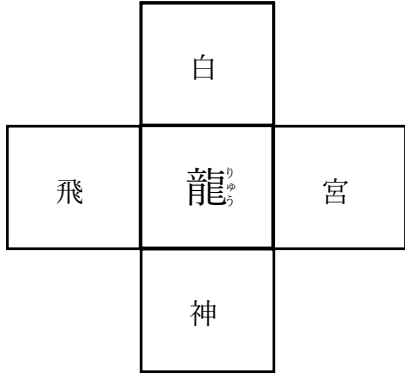
龍りゆう

基礎学力テスト (八枚の内 その八)

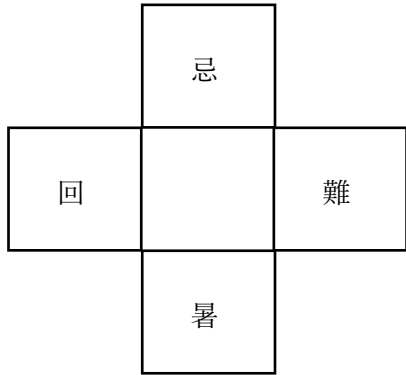
受験番号

四 次の①～⑤の中央の空白に漢字を一字入れて、二字熟語を4つ作りなさい。

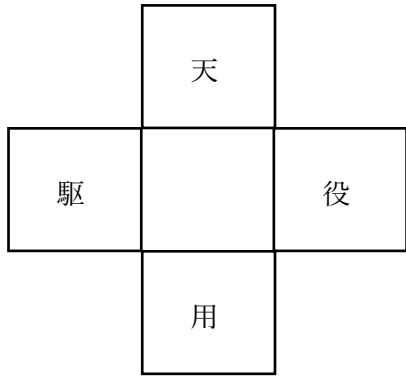
例



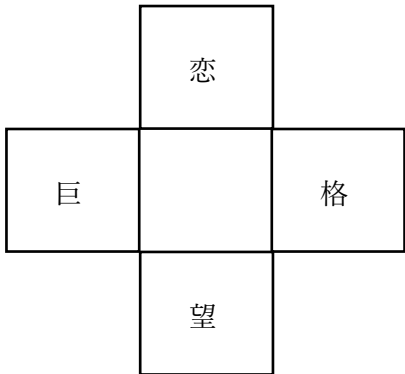
①



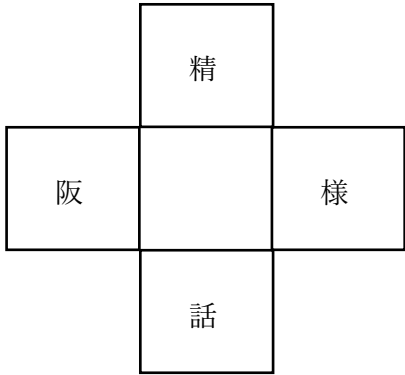
②



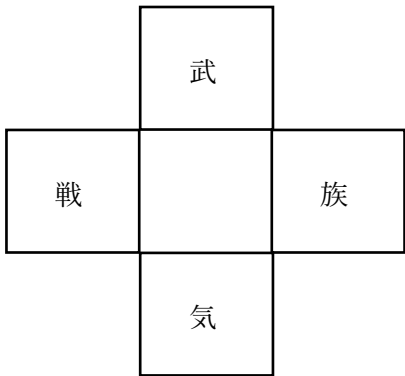
③



④



⑤



一

問一 10点

(解答例) 綺麗好きだが体が弱い母が、家族を想って無理を押して、痛みに耐えつつ家族のために掃除をしてくれるのを見て、感謝しつつも、辛そうな母にいたたまれなかったから。

出題意図：筆者の母親に対する複雑な思いへの共感能力を問う。

問二 10点

(解答例) 母が自身の辛さで怒ることなく、筆者とともに軟らかく共有してくれていたなら、筆者も掃除が嫌いになることなく、より楽しく手伝うことができたであろう。

出題意図：筆者の母親に対する複雑な思い(ネガティブなものも含む)への共感能力を問う。

問三 10点

(解答例) 親には感謝すべきであり、反抗的にならず素直に優しくすべきであるということ。そしてそうすれば、互いに笑顔を共有できるかもしれないということ。

出題意図：思春期の複雑な気持ちへの共感能力を問う。

問四 4点

③ あの日の自分

出題意図：筆者の時空を超えた気持ちをどの程度理解できるかを問う。

問五 4点

① 大きなカバンを持って学校へ行く。

出題意図：基本的な単語の多義性への理解を問う。

問六 2点×5

イライラ ふらふら へろへろ だんだん ぐうぐう

出題意図：オノマトペに関する理解を問う。

問七 10点

(解答例) 子どもを仕事場に連れて行った際、そこで授乳するのを露骨に嫌がる人がいるし、家に置いていくにしても、両親は高齢で姉はその介護をしていたりと、なかなか頼める人もいなかったりするので。それで無理して子どもを海外出張にも連れて行ったりしたが、疲労困憊の状況であったから。

出題意図：筆者の子育ての困難さへの共感能力を問う。

問八 4点

② 縦横無尽

出題意図：場面を適切に理解し、そこに見合った言葉を選択する能力を問う。

問九 10点

(解答例)自身の育った家は来客が多く、家族の時間がなかった。そもそも他人が家の中にいること自体少し緊張する性質である。だから自分が家族を持つようになったら、家族の時間が持てる静かな家にしたかった。さらに現在家でする仕事をしていて、静穏でないと捗らないこともあり、静かな家を望んでいた。

出題意図：過去から現在そして未来へと続く中での筆者の気持ちの変遷を想像する能力を問う。

問十 4点

慣れ

出題意図：筆者の環境適応力をどの程度理解できるかを問う。

問十一 10点

(解答例)家の中が静か過ぎず、誰か人がいて、ちょっとした家事を何気なくしてくれる、しかもそれが(かつての自身の母親のように)怒っておらず穏やかである、というのが、他人とはいえ通い合っているようで、その空気が何とも言えずいいから。

出題意図：なんともいえない心の機微をしつとりと覚めることができるかを問う。

二

問一 4点

④ それは単に不安を忘れているだけのことで

出題意図：筆者の人生観をどの程度読み取り共感することができるかを問う。

問二 4点

安定

出題意図：筆者の人生観をどの程度読み取り共感することができるかを問う。

問三 10点

(解答例)不安をなくすことは無理。なぜなら、人間は必ず死ぬし、この最大の不安からは絶対に逃れられないから。不安をなくすとはすなわち、死をなくすことになってしまい、それは生をなくすということになってしまう。

出題意図：筆者の人生観をどの程度読み取り共感することができるかを問う。

問四 10点

(解答例)自分の不安をどう解消するかを意識して努力するのではなく、そのような自意識をなくし、できるだけ他人や自分以外のものに興味を持ち、他人に優しくし、他人が喜ぶことだけを考え実行するべきである。

出題意図：筆者の人生観をどの程度読み取り共感することができるかを問う。特に他者貢献について。

問五 5点×2

② 自分はいずれ死んでいなくなるし、そんな自分の存在を強く意識しこだわっても仕方ない。

④ 自分ではなく他人に目を向け、他人に優しくし他人が喜んでくれるよう貢献することに意味がある。

出題意図：筆者の人生観をどの程度読み取り共感することができるかを問う。

三 4点×4

① **虎**の威を借る狐 ジャイアンの力を借りて威張っているスネ夫。

② **鯨**に鯨 AさんはBさんに付きまとしてBさんに嫌な思いをさせている。

③ まな板の上の**鯉** これから手術を受ける私。医者に任せるしかない。もうどうにでもしてくれ。

④ **牛**に引かれて善光寺参り 上司に誘われ気が進まない中食事に出かけたが、そのシェフが旧友だった。

出題意図：ことわざないし慣用句に関する知識量、及び漢字力を問う。

四 2点×5

① 避 ② 使 ③ 人 ④ 神 ⑤ 士

出題意図：漢字力、熟語同士を互いに関連させる能力を問う。

